

農学部 フロンティア食品科学科
アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

生物資源のさまざまな可能性、特に嗜好と健康に与える影響について明らかにし、加工による食品の機能強化や生物資源の持続的活用などの科学技術の発展のために、基本的かつ応用的な教育研究を行います。食品や食材などの新しい未来を開拓することで、持続可能で健全な食の推進など農学のポストハーベスト分野で社会に貢献することのできる行動的知性を備えた人材（技術者）を育成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編 成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGs など、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。持続可能で健全な食社会を推進する人材を育成するため、以下の専門科目群を開設します。 『食品の材料の科学』科目群：生物資源や食品などの可能性を解明する知識を修得する。 『食品の加工・機能性の科学』科目群：食品の加工による機能強化、生物資源の持続的活用に関する知識を修得する。 『実験・実習・演習』科目群：食品の嗜好、健康への影響の評価に必要な科学的技能を修得する。 『健全な食の科学』科目群：広い視点で、農学関連分野における価値創出力と課題解決力を培う。	食品の加工による機能強化や生物資源の持続的活用など、科学技術発展に貢献する意欲を持っていることが望まれます。食品や食材などの新しい未来の開拓や持続可能で健全な食の推進について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

- ①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
- ②フロンティア食品科学の基礎となる理科（化学あるいは生物）および英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人
- ③様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
- ④フロンティア食品科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
- ⑤常に問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
- ⑥農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一 般 選 抜 （ 前 期 日 程 ）	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科（化学あるいは生物）および英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
一 般 選 抜 （ 後 期 日 程 ）	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
総 合 型 選 抜 A （ 一 般 ）	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GD と略す）、GD のレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、主体性、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、フロンティア食品科学で必要とされる基礎学力を、GD では主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基本知識を中心に評価します。
総 合 型 選 抜 A （ 特 別 ） 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーションおよび質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GD と略す）、GD のレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜 A（一般）の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション（5 分）および質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。
学 校 推 薦 型 選 抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
私 費 外 国 人 留 学 生 選 抜	英語外部試験、日本留学試験および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、高等学校で修得すべき基礎知識、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類（成績証明書等）を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥	
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等		
一般選抜	前期 日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆				
		個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆			
		出願書類（調査書）	○						
	後期 日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆				
		面接			☆☆		☆☆☆		
総合型選抜	A（一般）	論述試験	☆☆		☆☆				
		面接			☆☆		☆☆		
		G D ・ レ ポ ー ト	☆		☆☆		☆		
		出願書類（調査書）	○						
		出願書類（自己推薦書）	○						
	A（特別）	論述試験	☆☆		☆☆				
		面接			☆☆		☆☆		
		G D ・ レ ポ ー ト	☆		☆☆		☆		
		プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆☆		
		出願書類（調査書）	○						
		出願書類（自己推薦書）	○						
		学校推薦型選抜	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
小論文	☆☆		☆	☆☆☆					
出願書類（推薦書）	○								
出願書類（調査書）	○								
私費外国人留学生選抜		英語外部試験	☆☆☆						
		日本留学試験	☆☆☆		☆☆				
		面接	☆☆		☆☆		☆☆☆		
		出願書類（成績証明書等）	○						

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 生物生産イノベーション科学科 アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

動物・植物・昆虫・微生物・土壌を対象に生物生産の過程や仕組み、生命科学などについて理解を深めるとともに、そこで得た知識を実社会で活用することができるように、アクティブラーニングを導入した教育プログラムを編成しており、農学関連分野においてイノベーションを創出できる行動的知性を備えた人材（技術者）を養成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編 成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGs など、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。生物生産科学の専門性とイノベーションの基礎を修得した人材の育成のため、以下の専門科目群を開設します。 生物生産基礎科目群：生命科学や生物生産を学ぶために必要な自然科学の基礎を修得する。 生物生産応用科目群：生物を解析し、活用するための基礎的な技能や実践的能力を養う。 生物生産基幹科目群：生物生産の観点から生物や農業を取り巻く環境を理解する。 生物生産イノベーション科目群：農学関連産業に直結した実践的な知見と先進的な技術を身につける。	自然科学の基礎理論と、生物生産に関わる基礎知識を理解し、農学における技術革新に貢献する意欲を持っていることが望まれます。農学関連産業の意義と重要性について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

入学時に必要な能力や適性等

- ①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
- ②生物生産イノベーション科学の基礎となる理科（生物あるいは化学）および英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人
- ③様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
- ④生物生産イノベーション科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
- ⑤生物生産イノベーション科学関連分野への関心と問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
- ⑥農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一 般 選 抜 (前 期 日 程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科（生物または化学）および英語についての知識や思考力を評価します。また知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
一 般 選 抜 (後 期 日 程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
総 合 型 選 抜 A (一 般)	出願書類、プレゼンテーションおよび質疑応答、面接を総合して選抜を行います。プレゼンテーションおよび質疑応答では、高等学校などにおける理科全般あるいは生物に関する探究活動について発表し、質問に答えるとともに、他者の発表についても質問してもらい、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、思考力、表現力などを評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
総 合 型 選 抜 A (特 別) 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーションおよび質疑応答、面接を総合して選抜を行います。プレゼンテーションおよび質疑応答では、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動について発表し、質問に答えるとともに、他者の発表についても質問してもらい、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、思考力、表現力などを評価します。また、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書等）を使用します。
学 校 推 薦 型 選 抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
私 費 外 国 人 留 学 生 選 抜	英語外部試験、日本留学試験および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、高等学校で修得すべき基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類（成績証明書等）を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入 学 時 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等		①	②	③	④	⑤	⑥
「学 力 の 3 要 素」と の 対 応		知 識 ・ 技 能		思 考 力 ・ 判 断 力 ・ 表 現 力		主 体 性 等	
一 般 選 抜	前 期 日 程	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	☆☆☆	☆☆			
		個 別 学 力 検 査	☆☆☆	☆☆	☆		
		出 願 書 類 (調 査 書)			○		
	後 期 日 程	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	☆☆☆	☆☆			
総 合 型 選 抜		面 接		☆☆		☆☆☆	
		出 願 書 類 (調 査 書)			○		
	A (一 般)	プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン ・ 質 疑 応 答	☆☆	☆☆☆		☆	
		面 接	☆	☆☆☆		☆☆	
		出 願 書 類 (調 査 書)			○		
		出 願 書 類 (自 己 推 薦 書)			○		
	A (特 別)	プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン ・ 質 疑 応 答	☆☆	☆☆☆		☆	
		面 接	☆	☆☆☆		☆☆	
学 校 推 薦 型 選 抜		面 接	☆☆		☆☆		☆☆
		小 論 文	☆☆	☆	☆☆☆		
		出 願 書 類 (推 薦 書)			○		
		出 願 書 類 (調 査 書)			○		
私 費 外 国 人 留 学 生 選 抜		英 語 外 部 試 験	☆☆☆				
		日 本 留 学 試 験	☆☆☆	☆☆			
		面 接	☆☆		☆☆		☆☆☆
		出 願 書 類 (成 績 証 明 書 等)			○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 環境システム科学科
アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

持続的かつ合理的な流域圏の基盤をデザインするための知識や技術を身につけ、農学分野の課題解決や発展に貢献することのできる行動的知性を備えた人材（技術者）を養成します。2年生後期から、①農業環境工学プログラム、②森林科学プログラムのいずれかに分属し、学科共通の専門領域の学修に加え、それぞれの専門領域について学修します。この2プログラムではそれぞれ、①田園空間の総合的デザインや食料生産環境システムの設計・制御に関わる専門技術者、②森林の木材生産と環境保全に関わる専門技術者の育成が図られます。なお、両プログラムはJABEE（日本技術者教育認定機構）による技術者教育プログラムとしての認定を受けており（予定）、卒業と同時に修習技術者となり、技術士補の国家資格を得ることができます。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基 盤 教 育 科 目	学士力の土台を固め、自らの可能性を拡げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者と対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専 門 教 育 科 目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。持続的な流域圏の基盤のデザインを担う技術者を育成するために、以下の専門科目群を設置します。 基礎科目群：環境システム科学に関する基礎理論を修得する。 環境基盤系科目群：流域圏の基盤のデザインに関わる基礎知識を修得する。 環境計測系科目群：空間デザインのための技術を修得する。 融合・応用科目群：社会的要求の変化に応じた合理的かつ柔軟な対応を学ぶ。 農業環境工学技術系・森林科学技術系科目群：専攻分野の技術者として社会に貢献するための専門知識・技術を修得する。	自然科学の基礎理論と持続的かつ合理的な流域圏のデザインを理解し、環境問題の解決やデジタル技術の活用に貢献する意欲を持っていることが望まれます。持続可能な流域圏の生産基盤をデザインについて幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

本学科では豊かな流域環境の創出・管理・評価、スマート農林業などを活用した持続的な食料・木材生産、気候変動へのしなやかな対応などに関する学識を身につけ、社会の幅広い分野で活躍できる技術者を育成することを目指しています。高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

(1) 求める学生像

- 入学時に必要な能力や適性等
- ①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人

②環境システム科学の基礎となる理科（生物）あるいは数学および英語などについての基礎的な知識と学力を備えている人

③様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人

④環境システム科学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人

⑤環境システム科学関連分野への関心と問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人

⑥農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一 般 選 抜 （ 前 期 日 程 ）	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では理科(生物)または数学、および英語についての知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
一 般 選 抜 （ 後 期 日 程 ）	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
総 合 型 選 抜 A （ 一 般 ）	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GD と略す）、GD のレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、環境システム科学で必要とされる基礎学力を、GD では主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基本知識を中心に評価します。
総 合 型 選 抜 A （ 特 別 ） 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーションおよび質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション(以下、GD と略す)、GDのレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜A(一般)の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション(5分)および質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。
学 校 推 薦 型 選 抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき 基礎知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
私 費 外 国 人 留 学 生 選 抜	英語外部試験、日本留学試験および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、高等学校で修得すべき 基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類（成績証明書等）を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入学時に必要な能力や適性等			①	②	③	④	⑤	⑥	
「学力の3要素」との対応			知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性等		
一般選抜	前期 日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆				
		個別学力検査	☆☆☆		☆☆	☆			
		出願書類（調査書）	○						
	後期 日程	大学入学共通テスト	☆☆☆		☆☆				
		面接			☆☆		☆☆☆		
総合型選抜	A（一般）	論述試験	☆☆		☆☆				
		面接			☆☆		☆☆		
		G D ・ レポ ー ト	☆		☆☆		☆		
		出願書類（調査書）	○						
		出願書類（自己推薦書）	○						
	A（特別）	論述試験	☆☆		☆☆				
		面接			☆☆		☆☆		
		G D ・ レポ ー ト	☆		☆☆		☆		
		プレゼンテーション・質疑応答	☆☆		☆☆☆		☆☆		
		出願書類（調査書）	○						
		出願書類（自己推薦書）	○						
		学校推薦型選抜	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆	
小論文	☆☆		☆	☆☆☆					
出願書類（推薦書）	○								
出願書類（調査書）	○								
私費外国人留学生選抜	英語外部試験	☆☆☆							
	日本留学試験	☆☆☆		☆☆					
	面接	☆☆		☆☆		☆☆☆			
	出願書類（成績証明書等）	○							

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの

(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの

農学部 エコロジカル社会経済学科
アドミッション・ポリシー

I プログラムの概要

食料やその生産基盤となる農林業に関する問題について、経済学や社会学など社会科学の領域から研究・教育を行います。農業生産や環境負荷、消費者ニーズ、循環社会、政策など幅広い専門知識や理論を理解し、誰一人取り残されことなく、十分な食料を確保し続けられる持続可能なエコロジカル社会に貢献することのできる行動的知性を備えた人材を育成します。

「宇大スタンダード」に定める汎用的能力とあわせて、以上のような資質・能力等を身につけた学生に「学士（農学）」の学位を授与します。

II 教育課程の概要と入学後の学修に必要な能力や適性等

編成	概 要	学 修 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等
基盤教育科目	学士力の土台を固め、自らの可能性を広げるため、(1)大学での学びの意義・目的等の理解や学生生活上の健康・安全等に係る知識や意識、(2)英語や健康、データサイエンス、SDGsなど、新たな社会での活躍に求められる知識・技能や考え方などの基礎、(3)自ら問いを立て、答えを導き出すための基本的な方法や異なる専門的背景を持つ他者対話を重ね答えを導き出していく力などを養い身につけていきます。ルーブリックの活用により、宇大スタンダードの6つの力をどの程度身に付けたかを把握し、自らの学びを自分自身で設計していきます。	高等学校までの教科学習等から得た基本的な知識・技能等は全て、大学での学び、とりわけ初年次の学修の素地としてとても重要です。加えて、人間社会や科学技術、芸術等の幅広い分野の知見や考え方に対する貪欲な知的好奇心、建設的に批判し自ら考えようとする主体的・能動的な姿勢や向上心、計画・準備・実行・省察を地道に継続する自己管理の意識などが、基盤教育科目から得られる学びを一層楽しく豊かなものにします。
専門教育科目	学部共通科目として、農学リテラシー科目、自然科学基礎科目、『研究への扉』の科目群を学びます。食、農林業、環境および経済を分析し、持続可能な社会の構築を担う人材を育成するために、以下の専門教育科目群を設置します。 基礎科目群：社会科学の基礎を修得する。 応用科目群：農学の対象を分析する力を修得する。 演習系科目群：課題発見や解決に資する論理的思考力・判断力や情報収集・分析力を磨く。社会・地域で適切な解決策を見出し、実践できる行動力を身につける。	食料やその生産基盤となる農林業に関する諸問題の解決に貢献する意欲を持っていることが望まれます。環境と社会と経済の持続可能性について幅広い視点から理解するため、高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけていることが必要です。また、身近な地域の課題や地球規模の問題などに対して、学んだ知識に基づき、道筋をたてて様々な側面から考察することができる基礎的な課題解決力を必要とします。さらに、他者と協働するためのコミュニケーション能力が不可欠です。

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

高等学校の様々な教科・科目の学習を通して、基礎的学力をバランスよく身につけてください。また、教科学習を通して、知識を組み合わせる筋道をたてて、色々な面から考察することのできる力を身につけてください。学校等における学びやクラブ活動等の場において、積極的に他の人とコミュニケーションをとり、協働することを心がけてください。

III 求める学生像、入学者選抜の基本方針及び入試による評価

- (1) 求める学生像
- 入学時に必要な能力や適性等

①高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の基礎的な知識を備えている人
②様々なデータを読み取り、思考し、判断する力を備えている人
③エコロジカル社会経済学における諸問題の解決策を他者と共有するための表現力を備えている人
④常に問題意識を持ち、解決に向けて主体的に考え、行動を起こす意欲と能力を備えている人
⑤農学分野の現場で多様な人達と協働するためのコミュニケーション能力を備えている人
⑥エコロジカル社会経済学関連分野への関心を持ち、本分野の発展に貢献する意欲を持っている人

(2) 入学者選抜の基本方針

一 般 選 抜 (前 期 日 程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは「文系型」あるいは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では小論文あるいは数学、および英語により基礎的な知識や思考力を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
一 般 選 抜 (後 期 日 程)	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。入学後の学びの基盤となる基礎学力を評価するために、大学入学共通テストでは、「文系型」あるいは「理系型」の科目群の受験を必要とします。個別学力検査等では面接により、思考力、表現力、学修への主体性、コミュニケーション能力等の資質を評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
総 合 型 選 抜 A (一 般)	出願書類、面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GD と略す）、GD のレポートを総合して選抜を行います。本学科で学ぶ適性を見るために、面接では意欲、コミュニケーション能力、思考力、表現力を、論述試験では思考力、表現力、エコロジカル社会経済学で必要とされる基礎学力を、GD では主体性、判断力、協働力、コミュニケーション能力を、レポートでは思考力、判断力、学びの基礎となる基礎的な知識を中心に評価します。
総 合 型 選 抜 A (特 別) 未来デザイン型入試	出願書類、プレゼンテーションおよび質疑応答を含む面接、論述試験、論述試験で提示されるテーマに関するグループディスカッション（以下、GD と略す）、GD のレポートを総合して選抜を行います。上記の総合型選抜A（一般）の内容に加えて、グローバルサイエンスキャンパスなどにおける探究活動のプレゼンテーション(5分)および質疑応答では、研究活動に求められる知識・技能、思考力・判断力・表現力および主体性について評価します。
学 校 推 薦 型 選 抜	出願書類、面接、小論文を総合して選抜を行います。面接では、本学科で学ぶ適性を見るために、学びに対する意欲や主体性、コミュニケーション能力のほか、高等学校で修得すべき 基礎的な知識、思考力、表現力などを評価します。小論文では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力などを評価します。また、知識や思考力等に偏ることなく、主体性等をも含めた学力の3要素を確認するために、出願書類（調査書）を使用します。
私 費 外 国 人 留 学 生 選 抜	英語外部試験、日本留学試験、小論文および面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜を行います。英語外部試験、日本留学試験では、入学後の学びの基盤となる語学力、基礎学力、思考力、判断力を評価します。面接では、諸問題の解決に取り組む力を養う上で必要となる、高等学校で修得すべき 基礎学力、表現力、主体性および学修意欲を評価します。また、学びの取り組みを確認するために出願書類（成績証明書等）を使用します。

(3) 入試による入学時に必要な能力や適性等の評価

入 学 時 に 必 要 な 能 力 や 適 性 等		①	②	③	④	⑤	⑥
「 学 力 の 3 要 素 」 と の 対 応		知 識 ・ 技 能	思 考 力 ・ 判 断 力 ・ 表 現 力		主 体 性 等		
一 般 選 抜	前 期 日 程	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	☆☆☆	☆☆			
		個 別 学 力 検 査	☆☆☆	☆☆			
		出 願 書 類 （ 調 査 書 ）			○		
	後 期 日 程	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	☆☆☆	☆☆			
		面 接		☆☆		☆☆☆	
		出 願 書 類 （ 調 査 書 ）			○		
総 合 型 選 抜	A（一般）	論 述 試 験	☆☆	☆☆			
		面 接		☆☆		☆☆	
		G D ・ レ ポ ー ト	☆	☆☆		☆	
		出 願 書 類 （ 調 査 書 ）			○		
		出 願 書 類 （ 自 己 推 薦 書 ）			○		
	A（特別）	論 述 試 験	☆☆	☆☆			
		面 接		☆☆		☆☆	
		G D ・ レ ポ ー ト	☆	☆☆		☆	
		プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン ・ 質 疑 応 答	☆☆	☆☆☆		☆☆	
		出 願 書 類 （ 調 査 書 ）			○		
学 校 推 薦 型 選 抜		出 願 書 類 （ 自 己 推 薦 書 ）			○		
		面 接	☆☆	☆☆		☆☆	
		小 論 文	☆☆	☆☆☆			
		出 願 書 類 （ 推 薦 書 ）			○		
		出 願 書 類 （ 調 査 書 ）			○		
私 費 外 国 人 留 学 生 選 抜		英 語 外 部 試 験	☆☆☆				
		日 本 留 学 試 験	☆☆☆	☆☆			
		小 論 文	☆☆	☆☆☆			
		面 接	☆☆	☆☆		☆☆☆	
		出 願 書 類 （ 成 績 証 明 書 等 ）			○		

(i) ○は、確認・参考のみとするもの、合・否、適・不適等により評価するもの
(ii) ☆～☆☆☆は、点数・段階評価するもの